

機関番号：31302

研究種目：若手研究 (B)

研究期間：2009～2010

課題番号：21730312

研究課題名 (和文) 隙間市場創出戦略の有効性と限界に関する研究

研究課題名 (英文) An Investigation of the Effectiveness and Limitation of the Strategy to Construct Niche Markets

研究代表者

村山 貴俊 (MURAYAMA TAKATOSHI)

東北学院大学・経済学部・教授

研究者番号：20285654

研究成果の概要 (和文)：

隙間 (ニッチ) 市場を創出し、そこで高い市場占有率を維持し続ける企業の競争優位の源泉を探った。食品や飲料産業で活動する企業の事例を分析するなかで、特定の事業に集中しながら、複数の付加価値活動上の優位をうまく統合している企業が、長期的な優位性の構築に成功していることを発見した。

研究成果の概要 (英文)：

The source of competitive advantages of the companies that construct the niche markets and retain the high market shares there was investigated. Through the case study of several Japanese companies in the food and soft drink industries, it has been found that the companies that focus their business to narrow areas and well integrate the strengths of several value-adding activities were succeed to build up their sustained competitive advantages.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	500,000	150,000	650,000
2010年度	500,000	150,000	650,000
年度			
年度			
年度			
総計	1,000,000	300,000	1,300,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経営学

キーワード：経営戦略、隙間市場、持続的競争優位、資源基盤、ニッチ戦略

1. 研究開始当初の背景

日本の飲料産業や食品産業では、カテゴリーキラーと呼ばれる特定商品や特定事業において長期的に高い占有率を維持し続ける企業が多数存在し、それら企業の競争優位の源泉を解明することは重要だと思われたが、意外にも既存の研究成果は乏しかった。

2. 研究の目的

(1) 競争優位の源泉については、これまで競争戦略論や資源基盤アプローチなどが解明してきたが、それら既存研究を踏まえつつ、特定商品を長く市場に残存させている企業の競争優位性がどこにあるのかを具体的に解明する。

(2) そもそも、競争優位とは何か、隙間市場とは何か、持続性とは何か、など経営学あるいは経営戦略論の基礎概念の意味を問い直し、その内容を明確にする。

3. 研究の方法

(1) カゴメ、ヤクルト、キューピー、永谷園を研究対象として選定し、資料の収集および企業・工場訪問をおこないヒアリングを実施した。

(2) 競争優位に関する論文、隙間（ニッチ）市場に関する論文を収集し、その内容の検討および整理をおこなった。

4. 研究成果

(1) カゴメ、ヤクルト、キューピー、永谷園については、一定量の情報を収集でき、その活動内容および競争優位の源泉が一部明らかになった。それら企業は、特定の商品分野に関して、基礎研究開発力、製品技術力、生産技術力、品質管理力、宣伝・広告力など全方位的な強みを有しており、もはや後発他社の模倣参入が不可能なほど高度な移動障壁を築いていることが明らかになった。強みの複合的な組み合わせ、それこそが、特に食品や清涼飲料分野では持続的競争優位構築の肝になる、ということが明らかになった。

(2) 基礎概念の再検討に関しては、今回特に隙間市場、ニッチ市場、ニッチ戦略について考察した結果、ニッチが必ずしも隙間を意味していないことが明らかになり、ニッチ戦略＝隙間市場戦略と捉えることは適切でない、ということが明らかになった。生態学のニッチ研究の知見なども検討するなかで、ニッチ戦略とは企業が自らの資源に適した事業や市場を選択する行為として理解すべきではないか、との結論に至った。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

村山 貴俊 (MURAYAMA TAKATOSHI)
東北学院大学・経営学部・教授
研究者番号：20285654

(2) 研究分担者 なし
()

研究者番号：

(3) 連携研究者 なし
()

研究者番号：